

概要版

3章まで

白馬村 水道事業ビジョン

～自然の恵みをそのままに。おいしい白馬の水道水～

(第2次)

令和5(2023)年度～令和14(2032)年度



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァールブラン・村男III世

令和5(2023)年3月(改定)



白馬村
HAKUBA VILLAGE

改 定 の 経 緯

「白馬村水道事業ビジョン」の策定から7年が経過し、「白馬村総合計画」の改定や「長野県水道ビジョン」といった上位計画の改定、「白馬村水道事業経営戦略」や「水道施設個別更新計画」といった水道事業の関連計画の策定など、白馬村水道事業ビジョンが整合を図るべき各種計画の策定や改定がありました。また、令和元年度には膨大な更新需要や人材不足といった白馬村水道事業も直面する経営基盤の脆弱化に対応するため、広域連携や官民連携の推進といった内容を盛り込んだ水道法の改正がありました。

こうした動きを踏まえ、変化する事業環境に対応した新たな事業の見通しを示すために白馬村水道ビジョンを今回改定することとしました。

白馬村

国・県

水道事業

白馬村第5次総合計画

平成28(2016)年度～令和7(2025)年度

改正水道法

令和元(2019)年度～

水道施設個別更新計画

令和3(2021)年度～令和12(2030)年度

白馬村国土強靱化計画

令和3(2021)年度～

新水道ビジョン

平成25(2013)年度～

白馬村水道事業経営戦略

平成30(2018)年度～令和7(2025)年度

長野県水道ビジョン

平成29(2017)年度～

白馬村水道事業ビジョン(第2次)

令和5(2023)年度～令和14(2032)年度

白馬村水道事業ビジョン

平成28(2016)年度～令和4(2022)年度

水道を取り巻く状況

脆弱化する水道事業の経営基盤の強化が求められている

- ① 人口減少社会の到来
- ② 管路等の老朽化の進行・更新需要の高まり
- ③ 自然災害による水道被害の多発
- ④ 水道事業に携わる職員数の減少

改正水道法の概要

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 関係者の責務の明確化 | ➡都道府県が広域化の旗振り役に |
| ② 広域連携の推進 | ➡広域化計画の策定や協議会の開催 |
| ③ 適切な資産管理の推進 | ➡点検・補修・台帳作成・保管等の義務 |
| ④ 官民連携の推進 | ➡コンセッション事業が可能に |
| ⑤ 指定給水装置工事事業者制度の改善 | ➡更新制度(5年毎)の導入 |

基本理念

今回改定する白馬村水道事業ビジョンの基本理念は、前回の基本理念を継承することとし、以下の基本理念を設定しました。

▶ 基本理念 ◀

自然の恵みをそのままに。
おいしい白馬の水道水

計画期間

今回改定する白馬村水道事業ビジョンの計画期間は以下のとおり10年間としますが、関連する計画等に変更等があった場合は途中年度でも必要に応じて見直します。

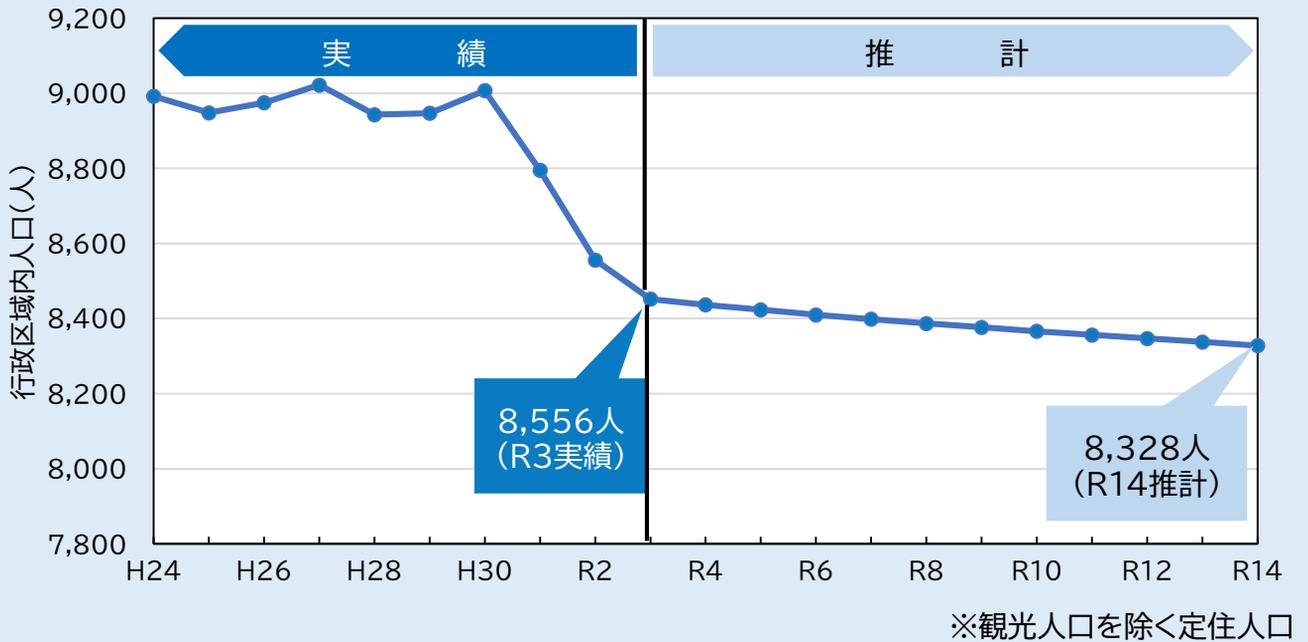
▶ 計画期間 ◀

令和 5(2023)年度

令和14(2032)年度

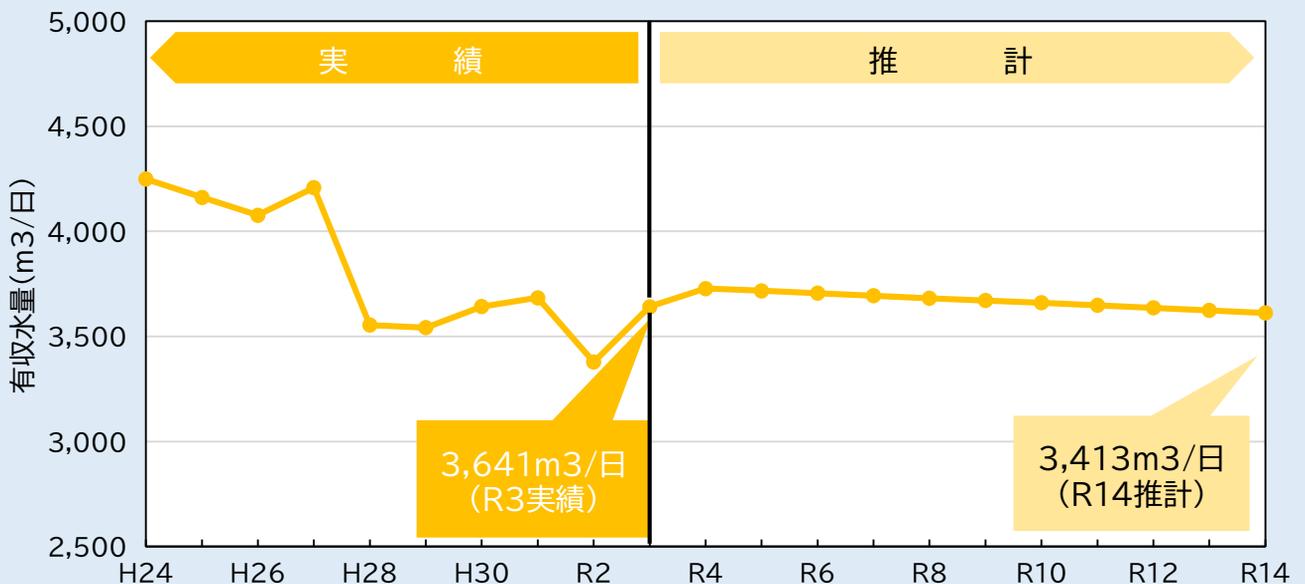
人口減少

白馬村の人口は令和元年度から減少を続けており、今後10年後においても人口が減少を続けていく見通しです。



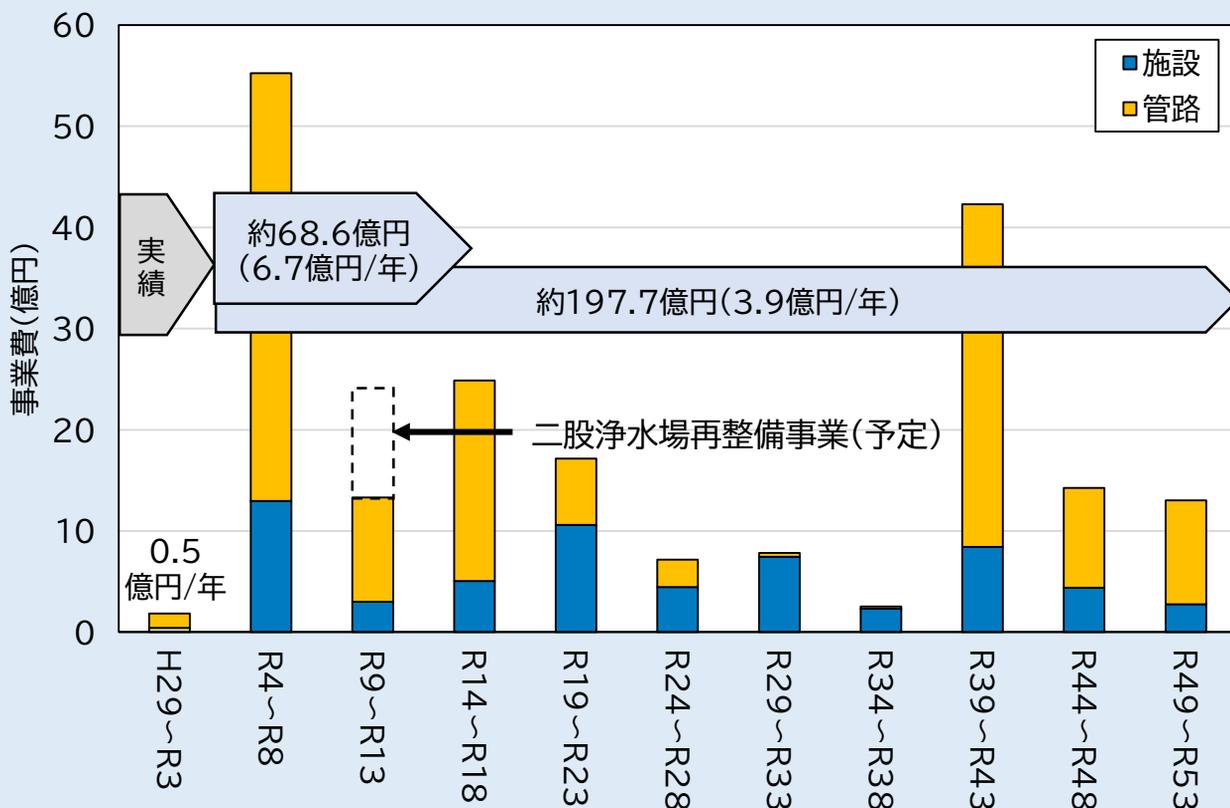
水需要の減少

近年続く人口減少に加え、節水機器の普及等による1人あたりの使用水量の低下により、今後10年間ににおいても水需要は減少していく見通しです。



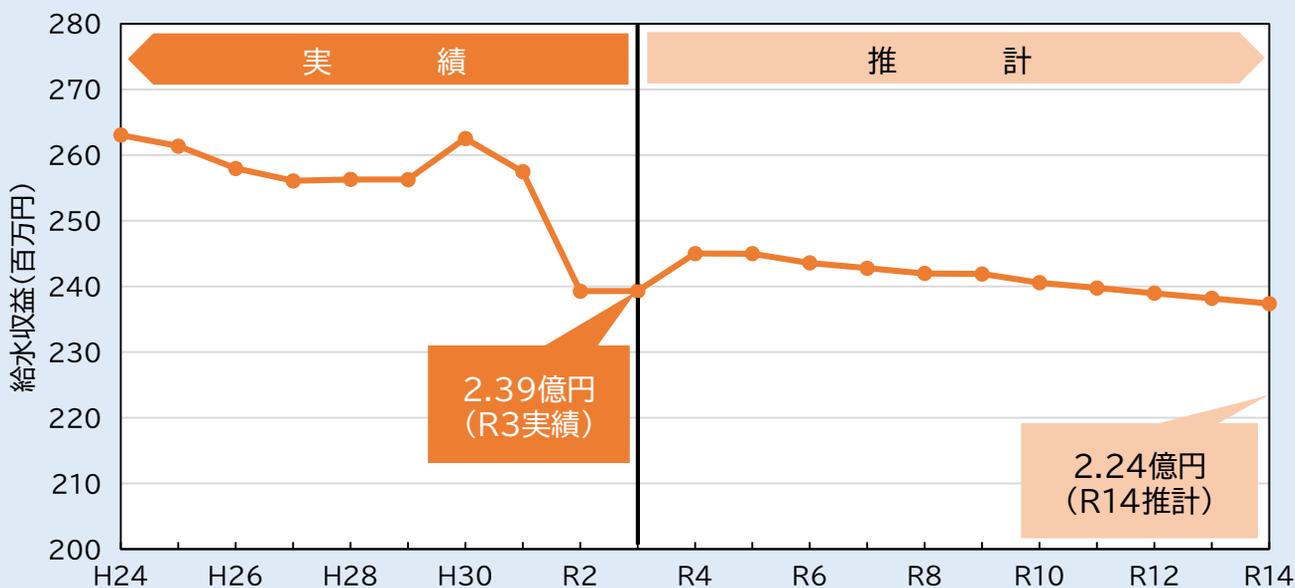
膨大な施設更新需要

法定耐用年数に基づき施設を更新する場合、過去の実績投資額(年0.5億円)を大きく上回る年6.7億円の投資が今後10年間に渡って必要になる見通しです。



給水収益の減少

膨大な施設更新需要に伴う支出の増加が見込まれている一方、水需要の減少によりその主要な財源である水道料金収入は減少していく見通しです。



4章以降の執筆内容(予定)

白馬村水道事業の現状と課題

白馬村水道事業が抱える課題を「安全」、「強靱」、「持続」の観点から整理する

<安全の観点>

- ・水質監視体制
- ・水源のバランス

<強靱の観点>

- ・二股浄水場の耐震性
- ・配水池の耐震性
- ・管路の耐震性
- ・地震時の応急給水体制
- ・停電時の対応

<持続の観点>

- ・水道施設の老朽化
- ・施設規模の適正化
- ・人材の確保
- ・経営健全性の維持
- ・デジタル化の推進
- ・官民連携の推進
- ・広域連携の推進

水道事業の将来像と施策設定

白馬村水道事業が抱える課題に対する耐震化等の各施策を「安全」、「強靱」、「持続」の観点から整理して体系化する。

将来像の実現に向けた施策

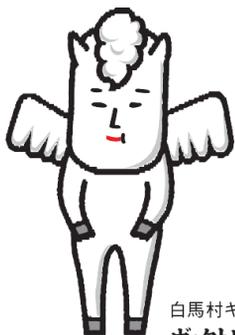
「安全」、「強靱」、「持続」の観点から体系化した各施策の詳細を説明する。また、各施策の進捗が確認できるような定量的な成果指標を設定する。

フォローアップ

今回ビジョンで定めた施策の進捗確認の方法(審議会等)や水道ビジョン等の改定時期等の見通しを示すことで、PDCAサイクルに基づくフォローアップ体制を示す。

(空白のページ)

白馬村の配水水系と主要な水道施設



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

白馬村水道事業ビジョン(第2次)(2023年改定版)

白馬村 上下水道課 上下水道係
〒399-9393
長野県北安曇郡白馬村大字北城7025
電話番号:0261-85-0714
ファックス:0261-72-7001